

③天王洲アートシティ創造推進施設「WHAT」拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）：
WHAT(寺田倉庫株式会社)
文化観光推進事業者：
(一社)天王洲・キャナルサイド活性化協会、エクスペリサス株式会社、株式会社MATCHA、日本航空株式会社

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

新規開館施設のため、2020年度の目標を基準値としている

- ・来訪者満足度 日本人（外国人）
2020年度 3.7(4.0)→2024年度 4.3(4.3)（約1.1倍）
※ 5段階の満足度の平均値
- ・外国人来訪者数
2020年度 1千人→2024年度 28千人（28倍）
- ・リピート率（日本人・外国人）
2020年度 5%→2024年度 25%（+5倍）

文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>
 - ・コレクター所蔵のアート作品を中心としたアートミュージアムを開館
 - ・地域文化観光事業者との連携による文化資源の魅力増進
- <2.文化についての理解促進>
 - ・海外富裕層向け旅行商品を企画、販売する共同申請者と連携したミュージアムナイトツアーを実施
 - ・アート資産理解のための鑑賞サポートシステムの構築
- <3.文化観光に関する利便の増進>
 - ・キャッシュレス・Wi-Fi整備、館内多言語化、バリアフリー化
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>
 - ・若手アーティストの作品を展示、販売する機能に、カフェとカルチャーセミナー機能が共存するアートギャラリーカフェを開設
- <5.国内外への宣伝>
 - ・インバウンドメディアやデジタル空間を活用した情報発信
- <6.施設又は設備の整備>
 - ・アートギャラリーカフェの整備

文化クラスター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

13,800 万円

計画区域 天王洲キャナルサイド



<品川区> **WHAT**
(草間彌生、奈良美智 等の作品、ショップ、アートギャラリーカフェ、等)

中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

その他施設